



社長インタビュー



環境問題に積極的に取り組み、その重要性をみなさんにアピールしよう

年々深刻化する環境問題に対して、ユニーはどのような対策を実践しているのでしょうか。また業界全体にはどのような動きがあるのでしょうか。チェーンストア協会会長を務める佐々木孝治代表取締役社長に最近の動きを伺いました。
聞き手:営業本部e-ショッププロジェクトマネジャー・山田陽一朗、寺渉夫



ユニー株式会社
代表取締役社長

佐々木孝治

2004年から4年間でマイナス6%を達成

——ユニーは2001年に環境部を設置し、各種環境問題への対応や地域での環境活動などを検討する環境会議も立ち上げるなど、さまざまな形で環境活動を推進しています。2004年1月には環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を本社で取得し、継続的な環境活動をユニーのマネジメントシステムに取り入れました。

佐々木 ISO14001の認証は、本社に続いて2004年12月9日に静岡本部が取得し、2005年7月9日に北陸本部が取得審査を受けます。2005年10月に関東本部も審査を受けるので、取得すれば全地区本部での取得になります。その後はそれぞれの店舗で展開を予定しています。

——2005年6月2日には「チーム・マイナス6%」のメンバーになりましたね。

佐々木 「チーム・マイナス6%」は環境省が地球温暖化対策のために立ち上げた国民的

プロジェクトです。みんなで立ち向かえば大きな力になるという姿勢で「冷房は28度に」「エコ商品を選んで買おう」といった6つの目標に取り組んでいます。ユニー本社事務所では、電気使用量の環境目標を2003年から4年間で6%削減していますが、現在3%の削減に到達しました。店舗におきましては、現在取り組み中です。

——食品リサイクル法の対策として取り組んでいる「地域循環システムの構築」についてはどのような進展が見られますか。

佐々木 食品リサイクル法対応として、4年前から愛知経済連と連携して生ゴミを堆肥の原料とする循環型農業に取り組み、2004年には稲沢と一宮の店舗で通年販売できるようになりました。この取り組みを他店舗に広げ、各地域ならではの「地産地消」システムを実現させたいですね。

